



「KOMABA DAY」は月に一度実施している日で、世界で起こっている様々な問題に子どもたちが触れる機会を作っています。また、同日は募金箱も設置します。集まった募金は災害などの緊急支援や KOMABA の開校以来、その活動を応援し続けているトータルペインター・ミヤザキ ケンスケさんのプロジェクト OVER THE WALL に役立てられます。なお楽しみながらの活動を目指しているため、「KOMABA DAY」では講師は私服で授業をし、生徒は授業中の飲食を可としています。

断食下のワクチン接種、ハラルか？

コロナ下の断食月 イスラム圏、なお残る行動制限

新型コロナウイルスの感染者が東南アジアで最も多いインドネシアで、イスラム教徒が日中の飲食を断つ断食月、ラマダンが4月13日から始まりました。国民の9割近くを占めるイスラム教徒からは、ワクチン接種が飲食に当たるとはならないかと不安の声が出ていました。断食中のワクチン接種について、国内のイスラム教団体は「筋肉に打つので断食を無効にするものではない」として、問題ないとの見解を示すなど対応に迫られました。

首都ジャカルタの病院で、接種を受けた27歳のイスラム教徒の女性は「断食中にワクチンの接種を受けても大丈夫だ」という見解が示されていたので、安心しています」と話していました。

インドネシアでは、イスラム教団体がワクチンについて、イスラム教の戒律に反していない方法で製造されたものと認める「ハラル認証」をするなど、国と協力してワクチン接種を進めようとしています。インドネシアのイスラム組織を統括する団体のアンワル・アバス事務局長は「口からワクチンを投与するのであれば断食を妨げることになるが、筋肉に注射する方法はイスラムの教えに反しない」と指摘しています。そのうえで「ワクチンの目的はイスラム教徒とそのコミュニティーを守ることで、非常に重要なもので、ラマダン中も接種を受けなければならない」と話しています。また、接種を受ける時間帯については「体に異変を感じたとき飲食することができるので、夜間に受けたほうがよい」と述べ、ラマダン中でも飲食が許されている夜間に接種するよう呼びかけています。



インドネシア国内で最初のワクチン接種を行い安全性を示すジョコ・ウィドド大統領



社会的距離をとって行うお祈りは、イスラム教徒の新様式

※ハラル

アラビア語で「許されている」を意味する。イスラム教徒は、聖典クルアーンによって、豚肉、お酒などの飲食を禁止されており、ハラルとして認められたもののみを摂取することができる。



ハラル認定マーク

5月13日はシンガポールの祝日「Hari Raya Puasa」です。この日は、1か月間続いた断食が明けるとしてイスラム教徒にとって重要な日になります。ワクチン接種よりも断食を優先するという敬虔なイスラム教徒も少なくありません。何を重視するかは、人種、宗教によっても大きく変わります。多様な人種が共存するシンガポールでは、それぞれの考えを尊重する必要があります。スーパーやレストランでもハラル認定のマークを目にしたことはあるでしょうか。食品だけでなく、使った食器の片付ける場所まで分かっていることもあります。シンガポールは、街中を少し見渡しただけでも、それぞれの宗教を尊重し合っていることが分かります。

(佐嶋)